

## 平成27年度 行政評価事業別シート

	<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	永井 毅
	<b>全体計画</b>	平成27年度 ~ 平成29年度			<b>経費区分</b>	実施計画事業費		<b>内線</b>	3625			
<b>事務事業名</b>	10589 体育施設整備事業											
<b>所 属</b>	130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課											
<b>施 策</b>	04022100 スポーツ活動の充実											
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計										
	<b>科目</b>	100702 教育費・保健体育費・体育施設費										
	<b>事業</b>	020000 体育施設整備事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>						
市民が安全に体育施設を利用できるよう適切に管理する。						体育施設の経年劣化による大規模改修、利用の利便性向上を進める。						

**PLAN-DO**  
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	市民体育館床改修工事 9,849千円 勤労青少年体育センター耐震診断業務委託 4,935千円 日滝卓球場耐震診断業務委託 2,583千円 墨坂庭球場フェンス改修測量設計業務委託 598千円
平成26年度 実績	平成27年度 予定
墨坂庭球場フェンス改修工事 16,546千円 北部運動場バックネット修繕工事 3,024千円 野球場劣化調査業務委託他 1,258千円	市民体育館トイレ改修工事 15,000千円

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		20,827	15,000
特定財源	国庫支出金	299	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	1,925	15,000
	その他	15,542	0
一般財源		3,061	0
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	685.8	0.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		21,512.8	15,000.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,258	野球場劣化調査業務委託他 1,258千円
15節 工事請負費	19,570	墨坂庭球場フェンス改修工事 16,546千円 北部運動場バックネット修繕工事 3,024千円
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	△1	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	15,000	市民体育館トイレ改修工事 15,000千円
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	災害時の避難施設となっている市民体育館のトイレを改修し、バリアフリー化を図り、市民の安全・安心確保と体育施設利用者の利便性向上を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	利用者及び近隣住民の安全・安心確保と体育施設利用者の利便性向上を図るため、計画的に施設の改修に努めている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	やや向上
評価コメント	有利な起債を活用し、利便性の向上を図る。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
多くの施設が老朽化しており、大規模修繕が必要となってきている。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
老朽化した施設について、財源を確保しながら、計画的、効率的な整備を進める。		外部資金の導入について努力している。老朽施設については統廃合等を検討したい。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	